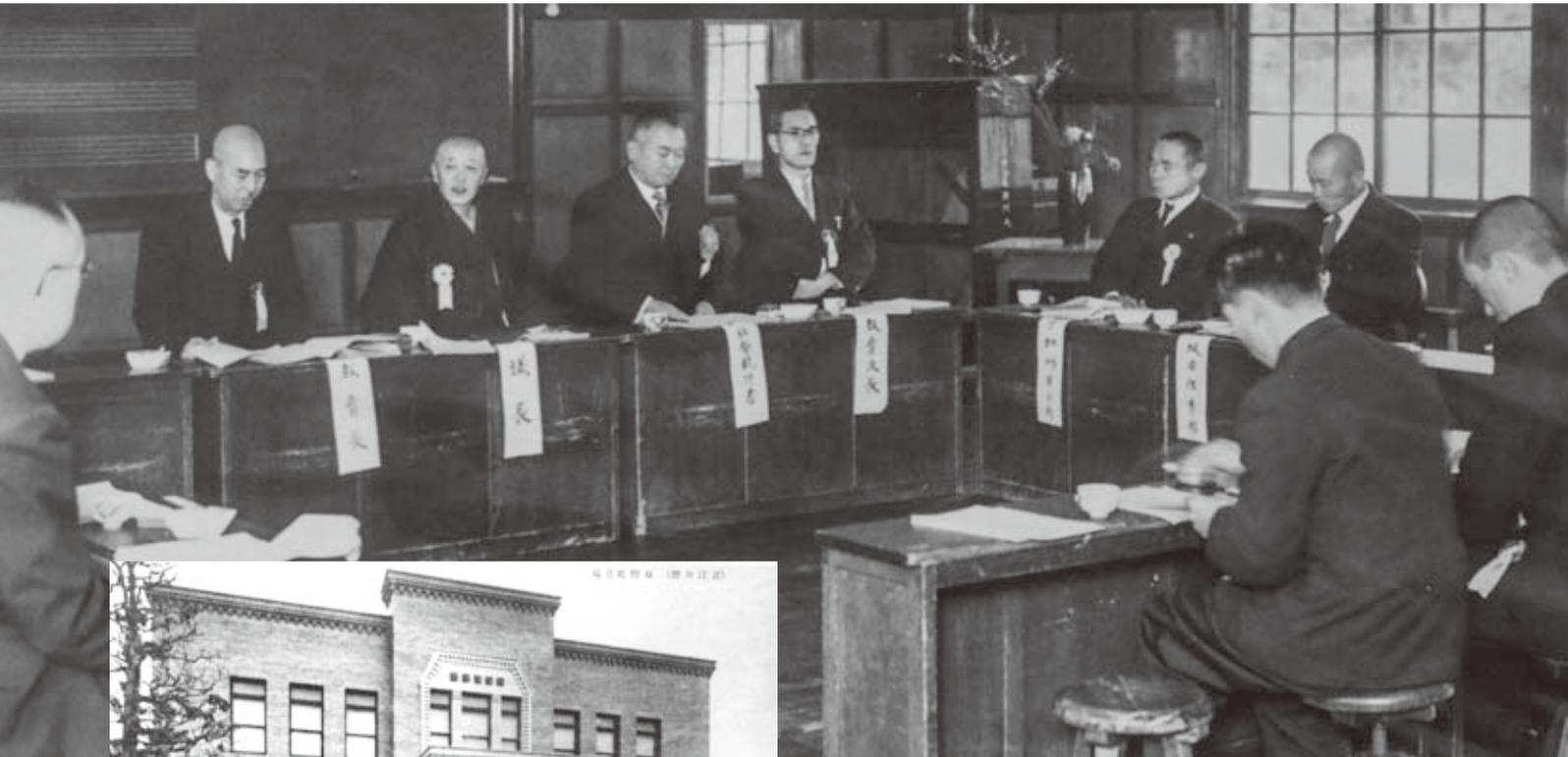


議会だより



今年、昭和30年(1955年)に当時の7町村が合併して現在の日野町が誕生してから、ちょうど65年にあたります。そこで、往時をイメージする写真を表紙にしました。

- ▲合併前後の町議会(委員会?)風景。日野小学校の音楽教室が議場として使われていたようです。
- ◀昭和9年(1934年)に竣工され、昭和55年まで大窪(旧平和堂跡地)にあった日野町役場旧庁舎。

9月議会

(9月1日~25日)と
7月27日に開催された
臨時議会の結果を
お知らせします。



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター
がもにゃん

INDEX

コロナ禍の日野町総合防災訓練	p.2~3
日野小学校6年生が議場見学	p.4~5
新型コロナウイルス感染症対策支援金等一覧	p.6
議案一覧	p.22~23

滋賀県日野町議会
令和2年9月定例会号
(令和2年11月15日発行)

コロナ禍での災害時の避難は!!

令和2年9月6日、日野町総合防災訓練が鎌掛地区で行われ、地元住民約70名が参加されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえ「密」を避ける形での訓練となりました。

(議会からは杉浦議長、谷副議長、中西総務常任委員長、地元の西澤議員が参加)



受付では検温、問診が行われ、発熱のある避難者の誘導訓練



コロナ感染症対策発熱外来受診者用陰圧テント



断水を想定して給水車による給水訓練

参加者の声

◎例年通りだと災害対策として行われるが、今年はコロナ対策を重点に行われていた。「密」を避けるため参加人数を減らしたの訓練となった。コロナ禍での避難等の体験や保健所の感染症対策防災講座も大変勉強になり、コロナを正しく知ることができた。もっと多くの住民が参加できれば良かったと思いました。(Nさん)

◎段ボールベッドを作ったり、発熱外来テントの見学や新型コロナウイルス感染症対策防災講座など、いろいろ体験させてもらえました。参加者の皆さんが協力的で良かったです。危機感が少し足りないように感じました。(Hさん)



段ボールベッド
段ボールを用いた避難スペース設置



9月議会で購入が決定した避難所用ワンタッチパーテーション
屋根も装着でき、一定のプライバシーを確保できる

参加者の声

◎最初は受付に人が集中していたが、少しずつソーシャルディスタンスを保てる様になった。段ボールベッド作りは力を合わせて作成されていたが、施設が大きくないので限界があった。密集しないよう、他施設の避難所の事も考えていかなければいけないと感じました。(Tさん)

非常用バッグに
入れるものを
チェックしよう!

- | | | |
|---------------------------------------|--|---|
| <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん | <input type="checkbox"/> 洗面道具 | <input type="checkbox"/> ビニール袋 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯・ランタン | <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー | <input type="checkbox"/> 筆記用具 |
| <input type="checkbox"/> ラジオ | <input type="checkbox"/> スマホ充電ケーブル | <input type="checkbox"/> 預金通帳コピー |
| <input type="checkbox"/> 乾電池 | <input type="checkbox"/> 軍手・レインコート | <input type="checkbox"/> ホイッスル・笛 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> ナイフ・缶切り | <input type="checkbox"/> 現金 (札と小銭) |
| <input type="checkbox"/> 食べ物 (3日分くらい) | <input type="checkbox"/> マッチ・ライター・ロウソク | <input type="checkbox"/> NEW マスク |
| <input type="checkbox"/> 救急セット・薬 | <input type="checkbox"/> ティッシュ | <input type="checkbox"/> NEW 体温計 |
| <input type="checkbox"/> 下着・靴下 | <input type="checkbox"/> タオル | <input type="checkbox"/> NEW 消毒液 |

ほかに必要なものがないか、家族と話し合っておきましょう。

～防災ハンドブック+新型コロナウイルスより引用～

特 集

日野小学校6年生のみんなが 日野町議会を探検



去る7月7日に日野小学校6年生の児童83名が、日野町議会の議場を見学に来てくれました。新型コロナウイルス感染症対策で3クラスが、1組ごとに時間をずらして、議場・傍聴席・委員会室・議長室・事務局室をまわりそれぞれ何をするところなのか、また議員は何をしているのかを学んでいただきました。最後には日野町役場の仕事も見ていただき、正面玄関入り口でお別れとなりました。みんなの元気いっぱいのあいさつが印象に残った議会見学会でした。みなさんからいただいた感想を原文のまま紹介させていただきます。

6年生担任の先生からのお便り

今回の学習をきっかけに、子どもたちが政治や地方公共団体の仕事に、今まで以上に興味を持ち、日野町のまちづくりに主体的に参加してほしいと願っています。



6年1組 児童の方からのお便り

ぼくは初めて役場に入ったのでとてもうれしかったです。印象に残ったことは、議場ですわれたことです。とても気持ちよかったです。もっと時間があれば聞きたかったことですが、なんで議会は役場の一番上にあるのかということです。

初めて日野町の人口を知れたり、町議会と町長はおたがいに意見を出し合い協力して、町民のためにいろいろな仕事をしていることが分かりました。自分たちのくらしがこんなにもたくさんの人たちに支えられていることも分かりました。私はずっと日野町に住み続けたいと思いました。



日野町議会は何をする所や町議会の仕事、条例も分かりました。私たちからの質問も答えてくださりありがとうございました。私は日野町の文化を守れるようにしたいと思いました。なぜなら、こんなに日野町を支えてくれているので、私たちも何かできたらと思ったからです。

初めて知ったことがたくさんあり勉強になりました。安田校長先生のお父さんが議長をされていたことにはすごくおどろきました。私は豊かな多くの自然が大好きなので、大人になっても日野町に住んでみたいです。



6年2組 児童の方からのお便り

私は、人口を増やしてすばらしい日野町にしたいと思いました。

大人になっても、都会に行かず、日野町を支えていきたいと思いました。



私は前まで大人になったら、すぐに日野町を出たいなと思っていました。なぜならショッピングモールとかが少ないからです。でも日野町の人口が減っていると聞いて、日野町に住みたいと思いました。私はこれからも日野町のいいところを広めていって人口が増えるようにがんばります。

6年3組 児童の方からのお便り

私は議会を見学して、さまざまな役割を持った議員の人たちや町民の意見をもとにして、工事や選挙をしていることを知りました。選挙や町長をするためには、決まっている年れいをこえないとできないことも分かりました。私は貴重な見学ができて、より日野町に住み続けたいと思いました。



議場に入ったりして本当に会議をしているみたいで、とてもスリルがあってとても楽しかったです。日野町に住み続けたいと思いました。貴重な体験をさせていただいてありがとうございました。



議場見学に行き、役場のことが好きになりました。一つ一つとてもすごかったです。あんなに席があるとは思わなかったです。きょうな経験をありがとうございました。

早く18才になって、選挙に行きたいです。

議場見学の時、ありがとうございました。ぼくは、かいがけなのでぜんぜん行けないけど、はじめて行ったので、すごくきんちょうしました。また見学したいです。25才になったらりっこうしようかなと思いました。



大変分かりやすく、日野町への理解を深める第一歩となりました。二学期、学びをさらに深めた私たちのプレゼンをどうかお楽しみに…

ぼくたちが言わせていただいたことに答えてくれたり、いろいろな質問をしてくれたり、そしていろいろな所に見学させていただいてありがとうございました。もっと日野町を明るくできたらいいなと思います。日野町にぼくは絶対に住みます。

議員から6年生のみなさんへ

たくさんのお便りをいただきありがとうございました。紙面の関係で全てをのせることができていません。地域のみなさんと議会と役場で住み続けたい日野町にしていきたいです。

新型コロナウイルス感染症対策支援金等一覧

○特別定額給付金〔担当課:特別定額給付金事業推進室／基準日は令和2年4月27日で申請期限は令和2年8月18日。給付済〕	
国→町	町民1人につき 10万円
○子育て世帯臨時特別給付金〔担当課:子ども支援課／児童手当対象児童世帯へ給付につき申請不要。6月に給付済〕	
国→町	児童1人につき 1万円
○日野町子育て世帯応援給付金〔担当課:子ども支援課／(同上および対象児童が高校2年生・高校3年生である世帯)〕	
町単独	児童1人につき 1万円
○日野町ひとり親家庭等応援給付金〔担当課:子ども支援課／該当児童世帯へ給付につき申請不要。5月に給付済〕	
町単独	児童1人につき 2万円
○日野町就学等応援給付金〔担当課:学校教育課／要保護・準要保護児童の保護者。7月に給付済〕	
町単独	児童1人につき 2万円
○日野町奨学臨時支援金〔担当課:学校教育課／12月まで〕	
町単独	・高校生等1人につき 2万円 ・大学生等1人につき 10万円
条 件	コロナ不況の影響により、収入が一定の率(3カ月平均が30%以上)減少したと申請した家庭
○小学校遠距離通学助成〔担当課:学校教育課／該当児童のいる保護者を対象に助成〕	
町単独	バス通学児童の1学期の通学費用を助成
内 容	コロナ感染症拡大により、休校となった小学校の1学期通学定期券の費用
○暮らし応援支援商品券配布〔担当課:商工観光課／配布済〕	
町単独	町民1人につき 3千円分の商品券を配布
○新型コロナウイルス感染拡大防止臨時支援金〔担当課:商工観光課／支援済〕	
県・町	県の休業要請に協力した中小企業・個人事業主等に対し、県の支援金に町の支援金を上乗せして支給 ・中小企業等・・・県 20万円、町 20万円 ・個人事業主・・・県 10万円、町 10万円
○小規模事業者等の県制度融資利用への利子補給〔担当課:商工観光課〕	
町単独	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業・小規模事業者等が借り入れたセーフティネット資金の利子分を3年間支援。支援額は1年間当たり20万円が限度
○日野町肉用牛肥育経営安定交付金緊急補てん事業費補助〔担当課:農林課／4月～9月まで6カ月間〕	
県・町	国が実施する肉用牛肥育経営安定対策事業により補てんされる残額の4分の1を補助
条 件	交付金制度に加入、かつ経営主体を当町に置く者
○日野町肥育素牛・繁殖素牛導入事業費補助〔担当課:農林課／4月～翌年3月までの1年間〕	
町単独	肥育素牛・繁殖素牛の導入に係る費用を補助。1頭当たり10万円(最大5頭まで)
条 件	当町に住所があり、かつ経営主体を当町に置く者
○上水道基本料金の減免〔担当課:上下水道課／口径は13mm、20mmが対象〕	
町単独	上水道基本料金を7月～12月まで6カ月分免除、または一部地域で支援補助

<9月議会の補正分>

○子育て世帯緊急支援事業〔担当課:子ども支援課〕	
町単独	国の特別定額給付金の基準日(令和2年4月27日)を過ぎて、令和3年3月31日までの間に生まれた新生児のいる世帯 新生児1人につき 10万円
○日野町肉用牛肥育経営安定交付金緊急補てん事業費補助〔担当課:農林課〕	
県・町	日野町肉用牛肥育経営安定交付金緊急補てん事業費補助の対象期間を12カ月間に拡充
○収入保険加入促進事業〔担当課:農林課〕	
町単独	新型コロナウイルス感染拡大の影響等による農業者の収入減少等に備え、農業経営収入保険事業に加入する場合の保険料の一部を助成
○小学校遠距離通学助成〔担当課:学校教育課〕	
町単独	8月の登校が必要となったことから、8月分の通学定期券の購入費用の全額を助成

補正予算トピックス

Topics

今回の9月補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策の追加的事業および行政懇談会要望の対応等、必要性の高い事業について、所要の予算措置がされました。

<補正予算の規模と財源(3~9月)>

当初予算総額160億8154万3千円・現予算総額190億1448万7千円

	3月定例会 3月補正	5月臨時会 5月補正	6月定例会 6月補正	9月定例会 9月補正	3月~9月 補正合計額
一般会計	1億2795万 9000円	23億2312万 8000円	2億703万 5000円	1億6269万 1000円	28億2081万 3000円
うち国・県補助	6288万 9000円	22億8859万 2000円	3924万 5000円	2億4375万 7000円	26億3448万 3000円
うち町財源等	6507万円	3453万 6000円	1億6779万円	△8106万 6000円	1億8633万円
国民健康保険特別会計	0円	110万円	0円	939万 7000円	1049万 7000円
介護保険特別会計	0円	0円	0円	7113万 4000円	7113万 4000円
水道事業会計	0円	0円	50万円	0円	50万円
下水道事業会計	0円	0円	0円	3000万円	3000万円
合計	1億2795万 9000円	23億2422万 8000円	2億753万 5000円	2億7322万 2000円	29億3294万 4000円
うち、新型コロナ予算	0円	23億2169万 8000円	2億753万 5000円	4996万 8000円	25億7920万 1000円

9月補正予算の主な内容

①経済・生活

- (1) ふるさと納税制度の活用 **936万2千円**
■ ポータルサイト・返礼品事業者への業務委託料
- (2) 町の道路を維持補修工事 **850万円**
■ 行政懇談会要望の構造物 17 地区、舗装 19 地区
- (3) 町道西大路鎌掛線の整備 **1162万円**
■ 西大路側の詳細設計委託料の他改良工事
- (4) 地域から要望した土木工事補助 **522万2千円**
■ 里道の補修整備に係る補助 9 地区
- (5) 保健センターのコロナ対策 **354万1千円**
■ トイレの自動洗浄と発熱外来機能の設備を設置
- (6) 鎌掛公民館整備とコロナ対策 **2745万2千円**
■ 倉庫の整備と各公民館トイレの自動洗浄等

②子ども・教育・施設管理

- (1) 新生児1人につき10万円支給 **1408万1千円**
■ 令和2年4月28日~令和3年3月31日までの新生児
- (2) 各小学校のコロナ対策 **650万円**
■ 各小学校で必要な衛生用品や備品等を購入
- (3) 中学校のコロナ対策 **200万円**
■ 中学校で必要な衛生用品や備品等を購入
- (4) 8月の児童登下校時のバス代 **247万3千円**
■ 遠距離通学児童の8月定期券購入を全額補助 他
- (5) 修学旅行のキャンセル代を助成
■ 小学校 211万3千円 ■ 中学校 575万3千円
- (6) わたむきホール虹の長寿命化 **749万3千円**
■ 外壁タイルの剥落防止工事に係る設計

ここに注目！委員会の報告

毎回白熱の議論が交わされる委員会の中から、特に注目の報告をピックアップ！

総務常任委員会

○避難所用ワンタッチパーテーションの取得

避難所内での感染症対策とプライベート空間確保のため、ワンタッチパーテーション 700 張を取得し、防災センターに保管されることになりました。



注目の要望

パーテーションによるプライベート空間の確保は良いことだが、死角が犯罪につながらないように対策を！

○核兵器禁止条約への署名・批准を求める請願

核保有国の動向、核廃絶の方法、自国防衛の方法、平和のあり方など、議論が尽きず継続審査になりました。

注目の討論

(A. 今の段階で結論を出すべき(3人) : B. 国の安全についてすぐに結論は出せない(4人)
→ B. 多数で継続審査)

産業建設常任委員会

○滋賀県農業公園ブルーメの丘、指定管理者の指定

ブルーメの丘を運営する株式会社ファームが、親会社の株式会社ワールドインテックに吸収合併されることが決定したため、事業継承する株式会社ワールドインテックを指定管理者として指定することになりました。

注目の質疑

Q. 当園は農業構造改善事業であるが、同じ制度で日野町に道の駅はつくれるのか？

A. つくれると認識している

Q. 第3セクターでなくしたことで地元事業者の利益が把握できなくなったのでは？

A. 地元事業者の動向にも気を配っていきたい

予算特別委員会

○ふるさと納税制度活用準備

財源の確保および地場産業 PR、地域活性化を目的としてふるさと納税制度の積極的な活用をすすめるため。

注目の要望

- ・トレーサビリティ(※1)を導入し、日野産をPRしてほしい
- ・制度運用を人材育成に活用してほしい



近江日野特産 日野菜

ことば

(※1)トレーサビリティ
食品などの生産・流通の過程を履歴として統一的に記録し、消費者などが後から確認できるシステム

議会改革特別委員会

注目の改革事項

- ・議会としての災害時対応方針【BCP(業務継続計画)】を作成することを決定！
- ・タブレット導入のための予算要望は見送り
(A. 行政の予算&労務の削減になる : B. 行政の予算&労務が増加する → 意見が分かれたため調査継続)
- ・各議員から行政へ、政策提案&提言を年に1回以上おこない、情報公開に務めることで一致

本会議と同じく、全ての委員会が傍聴できます。傍聴席からは、各議員の活発な議論をご覧いただけます。

令和2年9月 町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名		質問内容	
1	山田 人志	1. 合併問題で何が生じたか 2. ウィズコロナの社会活動	P.10
2	後藤 勇樹	1. 防災・有事における自衛隊との協力体制構築を 2. 前町政の検証と堀江町長の公約実現への取り組みは	P.11
3	奥平 英雄	1. 伝統文化・文化財の保存と活用を 2. 杉崎稻荷神社のT交差点の対策を	P.12
4	高橋 源三郎	1. 2020年以降の介護問題への対策について 2. コロナ問題から発生する経済不況への町の対応について	P.13
5	西澤 正治	1. 中山間地域等直接支払制度への取り組みを問う	P.14
6	山本 秀喜	1. 新町政におけるコンプライアンスを問う 2. コロナ対策のこれまでの取り組みでの課題は 3. 新町政による空き家対策、移住促進について	P.15
7	齋藤 光弘	1. 日野町の財政確保の取り組み姿勢は 2. 中山間地域等直接支払交付金制度の実施は	P.16
8	中西 佳子	1. 大谷公園施設プール整備を！ 2. 保育需要増への対応策を！ 3. 図書館サービスの向上について	P.17
9	加藤 和幸	1. 新町長の基本姿勢について 2. 新型コロナ、インフルエンザ対策について	P.18
10	池元 法子	1. 国民健康保険税のこれからの行方 2. 給食、学童保育の民営化はしない 3. 同和問題解決の取り組みの継承	P.19
11	谷 成隆	1. コロナ感染症と生活環境・経済対策について	P.20
12	野矢 貴之	1. 未来のために考えたい『新しいローカルのあり方』 —多文化共生のまち・地域内経済循環の構築—	P.21

本会議の様様をインターネットで配信しています。
(ライブ中継・録画中継)
右のQRコードを読み取ると一般質問の録画が視聴できます。



日野町議会インターネット中継

検索



合併問題で何が生じたか

ウィズコロナの社会活動

山田 人志 議員

合併問題で何が生じたか

問 日野町は16年前に、町の合併を問う住民投票のような町長選挙を経験して、合併しない自治体を選択しました。

答 町を二分する激しい議論であったのに、今ではその選択の結果を検証しようという声はほとんどありません。

問 しかし、小さな自治体を選んだ結果、何が生じたのかを評価して次の時代に向かうべきではないかと考え一問一答で質問しました。

答 当時、最も意見の割れた争点は、合併特例債など財政への影響だったが、現在その結果について話を聞くことはあるか。

問 同時期に進められた国の三位一体改革によって、合併の有無にかかわらず、全ての自治体の財政が大幅に悪化する結果になった。

答 財政以外でどんな争点があったのか。

問 合併のマイナス面では、住民の声が届きにくくなる、歴史文化が失われるなどの主張があった。

答 結局、財政の件をはじめ、当時の争点はどれも合併の有無と関係なかった。

問 それより、合併という変化を経験しなかったことで、時代の変化に対応しない体質になり、様々な点で機会損失が生じているのではないか。

答 その結果、小さな自治体の本来の強みである弾力性が失われている。

問 人口減少や予測不能な事態などで、自治体は時代の変化への対応が求められている。

答 変化に対応し、誰にも役割と居場所がある持続可能なまちづくりに取り組んでいく。

ウィズコロナの社会活動

問 新型コロナウイルス感染拡大の波が繰り返し、ウィズコ

問 コロナのなかで社会活動の再開を考えなければならぬ時期に来ています。

答 そこで、来年以降の計画や政策をウィズコロナで進める考え方について、一問一答で意見交換をしました。

問 活動制限に関する最適解はあると思うか。

答 最適解は見つけられていないので、自分、家族、地域で新しい生活様式を実践していただくことになる。

問 それならば、国県の一律基準より個別対応が重要になる。その意味で、町の事業・行事のそれぞれに来年度の再開方針があるか。

答 投資的な事業は大幅な見直しを迫られる。

問 事務事業でもウィズコロナでの実施が難しいものは見送ることになる。

答 地域行事の再開について

問 はどう考えるか。

答 不特定多数の人が集まる行事は、制限が緩和されても再開するのに勇気があるのではないか。

問 新型コロナウイルス事態で多くの事業が止まっている今、全体をリセットして個々に継続や見直しを検討する機会ではないかと思う。

答 策定中の総合計画もウィズコロナでの調整があり得ると予測し、あり方検討で職員＋外部人材のタスクフォース設置を提案するがどうか。

問 ウィズコロナに限らず様々な変化に対応するためには、外部人材の活用も考え合わせたいので、町政やまちづくりを検討する体制は必要と考えている。

議員のコメント

今回のふたつの質問に共通するテーマは、「時代の変化への対応」でした。

今、町政に最も求められているテーマのひとつです。

防災・有事における自衛隊との協力体制構築を
前町政の検証と堀江町長の公約実現への取り組みは



後藤 勇樹 議員

災害や有事対応に向け自衛隊との協力体制構築を

問 ①日野町は防衛協会に加盟しておらず、自衛隊と防災協力協定も結んでいない。また有事を想定した日野町国民保護協議会の委員にも自衛官を任命していない。災害や有事を考えると今の体制は十分ではないか。
②日野町総合防災訓練や氏郷まつりなどの行事にも自衛隊の参加を積極的に要請する必要があるのではないか。

(右) 長浜市総合防災訓練の様子



(左) 高島市消防団防災訓練の様子



答 (町長・総務課長)

①近隣市町の動向を見ながら、必要であると判断した場合は防衛協会加盟や防災協力協定についても進めていきたい。日野町国民保護協議会の委員は防災会議の委員と同一としている。条例が制定されてから(平成18年制定)見直していないがこの間に法令が改正されていることから、自衛隊員の任命も含め見直しを考えていきたい。
②周辺自治体の状況を含め検討していききたい。氏郷まつりには以前は自衛隊がブースを設置され隊員募集などを行っていた。今後は出展していただけるなら町としても支援していきたい。

藤澤前町政の検証、そして堀江町長の今後の取り組みを問う

問 ①町内において雇用を生む施策は大変重要だが、これまで外郭団体等の関係者の多くを前町長の支援に繋がっているという声をよく聞いた。堀

江町長はこの点について、今後これらの団体とどのように関わっていくかと思われるか伺う。

②役場職員の人員不足が深刻だが、効率化、経費や人件費削減の面からもペーパーレス化の推進や電子入札導入などを検討してはどうか。

③以前は定例議会が終わると、議会から出された意見や提案に対する「振り返し会議」が行われていたが、藤澤町政になり廃止された。また総務、経済、教育、議会と複数の主監が置かれていたが、これも同様に総務と教育以外は廃止された。業務の効率や各課の横の連携を強化する上でも複数主監制を復活する必要があるが、いかがか。

答 (町長・総務政策主監・総務課長)

①様々な団体の活動はまちづくりにとって欠かせない。人的支援や補助金等についても現段階において何かを変える予定はな

い。
②電子入札は業者側の準備が整っていないで行っていない。ペーパーレス化については業務を見定めながら適宜進めていきたい。

③現在も議会での意見等は主監がまとめて配布を行っているが、振り返し会議についても検討したい。また人員不足が深刻であるが、厚生関係の主監は必要性を感じるところである。

議員のコメント

堀江新町政となって初めての一般質問であるが、他議員の質問も含め、執行側の対応が目に見えてポジティブに感じられた。また新町長は議会や委員会中の居眠りや礼節を欠いた態度を取られることも無く、極めて真摯な対応をされ、議場の空気が一変したように思う。



上記QRコードで一般質問の動画をご視聴いただけます。

伝統文化・文化財の保存と活用を

杉崎稲荷神社のT交差点の対策を



奥平 英雄 議員

伝統文化・文化財の 保存と活用を

問 日野町には八百五十年の歴史を持つ日野祭がありま
す。今年にあつては、新型コ
ロナウイルス感染症防止のため
居祭りとなり、日野祭囃子共
演会も中止となりました。近
年、各町内で曳山・山倉の修
理をされ、日野曳山保存会と
協力しながら国の重要無形民
俗文化財指定を目指し頑張っ
ておられます。人口減少する
中、町の伝統文化・文化財の
保存と活用をどのように考え
ておられるのかお聞きします。

答 日野町には日野祭をはじ
め先人たちが大切に紡いできた
文化財が多数存在します。町で
はこれらの文化財を宝とら
え、平成14年から町史編さん事
業に取り組み13年の歳月をかけ
て町内各集落で脈々と守り伝え
られている有形・無形の貴重な
文化財を記録することができま
した。今後は文化財を保存・活



日野祭囃子共演会の様子

用し、まちづくりを生かしてい
くことが求められており、令和
2年3月に策定した第3期日野
町教育振興基本計画においても
このことを目標に掲げたところ
です。人口減少が進み、地域活
動の担い手が減少する中、文化
財を保存・継承していくこと自
体が大きな課題となっております
が、文化財は町民の心の拠り所
であり、元気の源でもあること
から文化財を活用したまちづく
りの指針のもとで、町民はもと
より近隣地域の支援者や来訪者
を巻き込み地域総がかりで文化
財を次世代へ継承する仕組みづ
くりに向けて研究を進めたいと
考えています。

杉崎稲荷神社の T交差点の安全対策を

問 日野中学校テニスコート
南側のT交差点ですが、左右
の確認がしにくく、カーブミ
ラーも遠すぎて見にくく、停
止線も消えかかっており、最
近では事故も起きています。こ
から、停止線、止まれる文字
の設置、カーブミラーが見や
すくなるように設置できない
かお聞きします。

答 T交差点の現状を説明し、
停止線及び止まれるの路面標示を
公安委員会に要望しましたが設
置については難しいとの回答が



左右確認しにくいT交差点



疑似停止線、T字マーク、
ミラーを調整し安全対策を実施される

議員のコメント

一日も早く国の重要無形民
俗文化財に指定されるよう、
町に今以上に協力していただ
きたいと願いました。
杉崎稲荷神社前のT交差点
は中学校の通学路であること
から、早急の対応をお願いし
ました。これ以上事故が起き
ないことを願うところです。

2020年以降の介護問題への対策について

コロナ問題から発生する経済不況への町の対応について



高橋 源三郎 議員

二〇二〇年以降の介護問題への対策について

問 少子高齢化は日野町においても大きな課題です。私は今回、高齢社会の中の「介護問題」について質問します。

今年8月発行の「議会だより」に「新型コロナ対策『住民の声』」と題して特集を組み、住民や事業所を取材して現場の声を聞き、その内容を掲載しました。この取材の中で、介護施設職員の声として「新型コロナウィルス感染防止対策も大変だけれど、今後重要な問題として、介護職の成り手不足と訪問介護職員の顕著な高齢化は、深刻な問題として現実化してくる」との現場の声を頂いています。

それは、高齢者の増加に比例する形で介護者も増えているのが現状ですが、介護施設の新設は進んでいないし、介護職の成り手不足の問題もあり、現実には厳しい状況です。

更に、利用者が介護認定を

受けても介護ヘルパーの不足により、介護制度を利用できない人も出てきます。即ち、このままの状態では手を打たなかったら介護制度は行き詰まると思うからです。

この問題に対して事前に手を打つためにも、私は次の3点について質問します。

①「介護職員初任者研修」を地元日野町内において町主催で開催して頂きたい。そうすれば受講者も増えると思う。町の考えをお尋ねしたい。

②介護従事者の時間当たりの賃金を全産業の平均賃金に近づけるべく、給与改定を断行して頂きたい。特に、訪問介護職員の成り手不足の解消の為に、時間当たりの賃金単価について思い切った改革が必要と考えるが、町の考えはどうか。

③介護予防も重要な課題だが、地区単位や各字単位での介護予防の取り組みとして、空き家を有効活用した「宅老所」開設の促進や「出前タク

シー」の推進などに対して資金援助を検討して頂けないか町の考えを伺う。

答 ①今年度、町内開催を計画していたが、コロナ感染問題の影響で講師の確保が困難となり開催に至っていない。しかし、東近江圏域では開催されるため、9月1日の区長発送の組回覧で、受講生の募集と受講費用の助成制度について案内した。

②介護報酬は国が定める介護サービスの費用の基準で決められている。昨年10月には、経験や技能のある職員に重点を置き「特定処遇改善加算」が新設され、政策的に賃金改善が図られている。全体的な賃金改善は、介護保険制度全体の中で整理されるべきものと考えている。

③地域住民の自主的な介護予防の活動に対しては、介護保険制度における地域支援事業として補助制度を設け、地域の支え合いを支援している。具体的な内容については相談に応じさせて頂く。

新型コロナ問題から発生する経済不況への町の対応について

問 新型コロナ感染防止対策等により経済不況が発生しているが、今後もし貿易等がストップした場合、日本の食料自給率は38%とされているので、食料不足が発生する。もし、こうなった場合、日野町として住民の食生活を守り維持していくために、何か対策を検討されるのか。

世間では既にこうした噂が取り沙汰されている。

答 全国的な経済対策については国において講じられている。想定外の経済不況が日野町においても発生した場合、町として住民の生活基盤を守るための施策を実施する。

議員のコメント

今後はどちらも、町民一人ひとりの自助努力が重要な鍵となり、その心構えが必要。

中山間地域等直接支払制度への 取り組みを問う



西澤 正治 議員

今回は新町長就任後の初議会となり、公約でもある中山間地域直接支払制度についてお聞きしました。

問 8月17日林業センターホールにて説明会が開催され、対象となる地域の代表が説明を受けました。

棚田地域振興法に基づいて県知事が特に定めた基準を満たす地域として、町内では13地域が該当すること。対象地域は地形の勾配が1/20以上の急傾斜地域のみに限定するとの説明でした。

当地域では全耕作面積の2・3%が対象となり得る面積です。これでは該当する農家も対象となる圃場も限られ、集落全体で取り組む意欲も減退するのではないかと思えます。もっと緩和策が取れないものか伺いました。

答 (町長・農林課長)

棚田地域振興法が施行され、1/20以上の勾配要件を満たした農地が1ha以上ある場合は指定棚田地域の指定を受けることで、中山間地域等直接支払交付金制度の対象地域となる事から取り組みに向けた調査を行い、町内で要件を満たす集落が13集落となったものです。町としては令和3年度、勾配1/20の急傾斜地から支援を考えています。緩傾斜地を対象農地にしていくかについては今後勾配調査を行う中で検討していきたいと考えています。

議員のコメント

農業従事者も高齢化が進んでいます。若い農業者に繋げる魅力ある農業に施策を期待しています。



耕作が難しい中山間地の圃場（農林水産省の資料より）

新町政におけるコンプライアンスを問う

コロナ対策のこれまでの取り組みでの課題は

新町政による空き家対策、移住促進について



山本 秀喜 議員

新町政におけるコンプライアンス（法令遵守、公正・公平）について

問 町政運営でコンプライアンス遵守は、最も重要な垣根の部分であり、堀江町政において首長として考え方を確認しました。

① 堀江町長の町長選挙直前のチラシで、「特定の人間の指図で政治を行うことはありません。脅かしや利益誘導は言語道断です。むしろ、さらにクリーンな町政を進めるため、情報公開とコンプライアンスを強化し、そういったことを防止する制度やシステムを構築していく」とあったが、どのような問題意識からコンプライアンスを強化しなければならぬと考えたのか。

答 行政の透明性を向上し、公正な職務執行を行うことは、住民の皆さんに信頼をしていただく町政を確立することになります。職員等が職務に関する要望、請求、要請などを受けた時

にその内容を記録し、情報公開制度に対応することで適正な対応と、不正な働きかけに対し、一定の抑止効果が期待できます。

問 ② 堀江町長の支持母体であるワンチーム日野が、選挙期間中に発行された広報誌において、「印象操作やデマで町民をたぶらかしたり、誹謗中傷をする候補者を断固として許しません」と記載された文面が見られたが、具体的に何を指しているものだとお考えか、この記載内容に関してどう感じられたか。

答 その内容につきましては、支援団体が発行されたものですので、その内容に私自身が関与するものではありません。

再問 この言葉は、特定の候補者を悪く言い、脅かしの言葉だとは思いませんか。

答 行き過ぎてしまうことはよくろしくありません。

新型コロナ対策（日野町独自施策）のこれまでの取り組みでの結果と課題は

問 ① 子育て世帯および一人親への給付、高校・大学生を持つ世帯や要保護・準要保護世帯に支援金の給付、小規模事業者に対して支援金の給付、地域商品券の配布、学習遅れ対応で学習支援員の拡充に對してどうか。

答 保護者や事業者の方々から感謝の言葉が寄せられています。終息が見通せない中、困窮家庭が増えることが予想され、国における支援制度の充実が必要であると考えています。

問 ② 保健センター北側に設置された発熱外来対応ハウスは、いつ稼働される予定なのか。

答 医療機関で勤務いただく従事者の感染を防ぐとともに、院内感染を防ぐため、発熱外来（主に問診診療）を行うための診療ユニットを設置しました。開設にあたっては、町内の開業医の方々にご協力いただく必要があります。現在、協議・調整中です。

新町政による空き家対策・移住促進は

問 日野町全地区の空き家の軒数は、令和2年度には557軒にのぼり増え続けているものの、空き家バンクへの登録物件は少ない状況が続いている。空き家対策を阻むモノの処分「空き家リフォーム補助制度」（不要品の撤去、仏壇の処分など）に対して支援が必要だと考え、町の見解はどうか伺いました。

答 今年度中に日野町空家等対策計画を策定する予定としています。空き家リフォーム助成制度は、日野町への移住を検討していただく機会が増えることから、国や県の補助を活用し制度整備について研究していきます。

議員のコメント

9月議会は堀江町長が就任され初めての議会定例会でした。前藤澤町政が築いてこられた「公平・公正」な町政運営をこれからも続けていくため、しっかりと議会の役割を果たしていきたいと考えています。



日野町の財政確保の取り組み姿勢は

中山間地域等直接支払交付金制度の実施は

齋藤 光弘 議員

日野町の財政確保の 取り組み姿勢は

堀江町長が公約で掲げておられる財政確保についての考えと財政運営の取り組み姿勢について、一問一答で質問しました。

問 国の予算編成に合わせて地方税と地方交付税などの一般財源総額の増額を求めることが、地方財政の充実確保の最優先事項ではないか。

答 町財政の運営は、地方財政計画の枠組みを一定の指針とすることは非常に大切なことです。加えて当町の財政状況を足元から見据え、努力していくことが重要であると考えています。

問 財政計画を立てることで、厳しい財政をクリアできるのか。

答 厳しい財源をクリアするには最小の経費で最大限の成果を生み出せるよう工夫や独自財源の確保などの継続した努力が必要と考えています。

問 日野町の財政は国の健全化判断基準と比べ問題はあられるのか。

答 当町は早期健全化基準に該当する比率では無く、直ちに財政悪化が切迫した状態を示すものではありませんが、今後も町債の発行抑制や各種基金の積み増しなどにより、引き続き健全な財政運営を行うっていく必要があります。

問 住民負担（税負担）の前に、行政が最大限努力しますとは。

答 税収が確保できない場合は、町財政の見通しを公表した上で、住民のみなさんにご負担をお願いするという意味で申し上げたものです。

問 税が広く公平にいきわたるようには、どのような問題意識なのか。

答 問題意識があるということではなく、公平な行政を執行していくという思いです。

問 ふるさと納税への基本的な考えは。

答 今後は、今日までの当町でのクラウドファンディングの取り組みとともに、町の特産品を中心とした返礼品も活用し、町をPRしていくことと考えている。

中山間地域等直接支払 交付金制度の実施は

令和3年度から町の実施に向けて対象13集落への説明会がされたが、急傾斜地1/20以上勾配に限定することから、緩傾斜地を対象エリアに拡大するよう一問一答で質問しました。

問 棚田加算の取り組みは。

答 取り組みのハードルが高くなることから令和4年度から協議を進めていきたい。

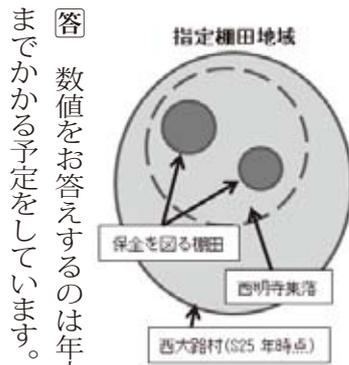
問 県下の取り組み状況は。

答 10市町で実施している。大津市、栗東市、湖南市、東近江市が急傾斜勾配1/20以上。甲賀市が緩傾斜勾配1/50以上。長浜市、高島市、米原市、愛荘町、多賀町が緩傾斜勾配1/100以上で取り組みされている。

問 意向調査の回答状況は。

答 現在、8集落から取り組み意向報告をいただいています。

問 緩傾斜拡大による試算は。



答 数値をお答えするのは年内までかかる予定をしています。

問 令和4年度に緩傾斜拡大実施できるのか。

答 令和4年度からの実施に向けて試算し検討します。

問 町長の見解を聞く。

答 一定の支援が必要であることも認識しています。中山間地の農業だけでなく集落を維持していただくため、どこまでの支援が可能か、調査検討したいと考えます。

議員コメント

ふるさと納税については、高所得者ほど税控除の優遇が大きくなるなど大きな問題があり、ふるさと納税頼りではない真の財政確保の在り方を探求されることを期待します。農業の実態は危機的な状況であり、思い切った財政措置をしないと農業がダメになります。思い切った財政投入をしよう強く要望しました。

大谷公園施設プール整備を！

保育需要増への対応策を！

図書館サービスの向上について



中西 佳子 議員

大谷公園施設プール整備

問 大谷プールは老朽化により昨年度から休止状態である。健全度調査では、使用は困難と聞いている。今後の施設整備について伺う。

答 ①現状をどう捉えているのか。
②プールが存続できる計画は。
③他市町の公営プール運営状況の研究は。
④休止状態の中、他市町の公営プール利用者に補助はできないか。

答 ①早い段階で危険な部位の解体等により安全性を確保したい。
②存続に向けた計画は、現段階では明確な方針は決定していないが、公園施設運営や住民ニーズを踏まえ早期の計画策定に努める。
③公営プールは県内に約20施設あり、指定管理者制度や業務委託により運営されている。施設の計画策定と併せて研究を進める。
④町内にプール施設がない状況ではあるが、プールの利用者のみに助成することは難しい。

保育需要増への対応策

問 保育士はコロナ禍以前から不足と言われている。子どもを安心して預けられる保育所や幼稚園、こども園はなくてはならない存在です。

①感染防止対策の消毒液、マスク等の支援は。
②待機児童の状況と対策は。
③今後も保育需要は増えると考えるが対策は。
④保育士の人員拡充は。

答 ①消毒液やマスク、給食時の密を避けるため園児の机を購入配布した。
②待機児童は今年4月時点で2名。保育所、こども園は満杯、幼稚園の預かりについても現在定員一杯の状況です。厳しい現状ですが、丁寧な対応に努めていきたい。
③幼児教育・保育の無償化により保育所への入園希望は引き続き高く推移すると考える。ここ数年既存施設を活用しながら定員増加策を講じてきたが、需要

の増加に追い付かない状況です。今後、施設の老朽化もあり、町内すべての幼稚園、保育所こども園を一体的に据え検討する時期に来ているのではないかと考えている。

④保育士不足は全国的な課題であり、県では滋賀県待機児童対策協議会を立ち上げ県内全ての市町が参加している。県内で開催された保育所・認定こども園等就職フェアに出展し日野町の良さをアピールした。



図書館サービスの向上

問 コロナ禍の中、図書館の行事や運営について伺う。

①閉館期間後の運営状況は。
②コロナ禍では、インターネット予約は有効だが、現状や課題は。
③本の消毒等はどうか。図書用消毒機の導入は。

答 ①館内の閲覧席を減らし、換気や手を触れる場所の定期的消毒を行っている。お話し会や映画会等は7月から、8月末にはピアノコンサートも行った。
②コロナ禍でのインターネット予約は有効だと考えている。パソコンがないご家庭や利用者が難しいという課題があり、電話やファクスの予約も対応している。
③図書館資料の取り扱い新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインでは、最も有効な対策は、資料の利用前後の手洗い・手指の消毒や利用された資料の一定時間の隔離であることから、利用者への啓発に努めている。図書の消毒機は研究したい。

議員のコメント

今、住民生活は様々な環境の変化に対応しながらの活動となっている。
コロナ禍の中でも住民みんなが希望を持ち、安心して生活出来る施策を期待します。



新町長の基本姿勢について 新型コロナ、インフルエンザ対策について

加藤 和幸 議員

問

堀江新町長の町政運営にあたっての基本姿勢を伺う。

①憲法99条公務員の憲法尊重擁護義務規定に対する町長の見解を伺う。

②日野町の先人はこの間、いろんな場面で憲法の三原則を暮らしに生かす取り組みをしてきた。「非核日野町宣言」や毎年夏の「反核平和のつどい」、全国に先駆けて同和对策環境改善事業完了宣言、主権在民の精神を生かした住民運動（びわこ空港計画や平成の大合併をストップさせる）など。町長はこれらをどう評価されるか。

③町長は議員時代に、平和安全法制などいわゆる国政の課題に関する住民の請願に対して「地方議会において判断できるテーマではない」として「門前払い」の態度をとってこられたが、住民の請願権（意見表明権）についてどうお考えか、伺う。

④町長選への出馬表明にあたって、「偏らない政治感覚で

町政の課題を解決」と発言された旨報道にあったが、「偏らない政治感覚」とはどういうことか、また藤沢前町政は「偏っていた」ということが、伺う。

憲法を尊重擁護し、安易に改正すべきではない

答 ①私は日本国憲法を尊重し擁護する立場であり、憲法の目的が達成されるよう町政運営に努めたい。

再質問

安倍総理は改憲を呼びかけている。町長在任中は改憲にくみしないと明言されたい。

答 党派がどうあれ、安易に改正すべきでない。

②町の伝統と志を後世に受け継いでいきたい。

③住民の請願権は憲法上保障されている。

④公平公正な政治判断で課題を解決していきたい。前町政が偏っていたという思いからの発言ではない。

コロナ禍から学ぶこと

問

①本町での感染者は8月末現在で3人。この間の対応から学ぶことや今後の教訓は。

②インフルエンザとの同時流行が懸念されている。予防接種の対象や補助を伺う。

③ワクチン不足は心配ないか。

④肺炎球菌ワクチン接種は65歳から節目に案内があるが、受診率はどうか。

答 ①公的機関が発表・公表する情報に基づき、正しく感染防止対策や行動をとっていたことが感染防止につながる。

インフルエンザ予防接種は町補助に加え、対象者に県から千円の補助

②町では65歳以上および60歳以上の特定疾患のある方が定期接種の対象。自己負担1500円。なお、今年の12月末まで前記の方に加え、妊婦および中学生以下に県から千円の補助。

再質問

県の補助がコロナ対策の一環なら対象以外の一般住民に対しても千円の補助を拡充すべきでないか。財源的には可能だし、現に今朝のTVニュースでは全国のいくつかの市町で実施の報道があった。

答 予定していない。

③国は昨年の7%増産。町内では昨年の実績に基づき供給。

④成人用肺炎球菌予防接種は65歳から5歳区切りで百歳まで自己負担2500円で接種できる。途中の年齢は不可。令和元年度までに対象6070人に対して3189人が接種。受診率52%。

議員のコメント

新町長の憲法尊重擁護答弁を重く受け止めたい。町の先人が築いてきた憲法に基づき民主主義がさらに充実発展するよう、住民参加の町政をめざそう。

国民健康保険税のこれからの行方 給食、学童保育の民営化はしない 同和問題解決の取り組みの継承



池元 法子 議員

国民健康保険のこれからの行方

問 第2期滋賀県国民健康保険に向け、堀江町長になって初めての首長会議が開かれた。町長の発言内容、会議の経過・進捗状況を伺う。

答 保険税の統一時期の問題、各市町からの財政支援等の問題、2期目（令和3年度）からの納付金・保険税の算定方法などが提案された。
日野町長として発言はしていない。

収納率の高い市町の納付金を高くする提案は問題

再質問 今回、統一保険料の算定について、収納率の高い市町の納付金を高くするとはまったくおかしな提案であり、これが今回一番の問題である。収納率向上に努めているわが町にとっては、前日野町長

は、「不公平で乱暴な議論である」と発言されていました。各市町の担当者会議でも、

当町の澤村住民課長は、日野町を、日野町の被保険者を守る立場で、しっかり発言していただいております。

今後は、課長としっかり連携をして、今回のようなおかしな提案に対して、わが町を守る立場でしっかりと発言していただきたい。

答 日野町民の代表として、日野町民が不利益を被ることにについてはしっかりと発言していくことを誓う。

給食、学童保育の民営化はしないことを確認

問 7月5日投票の日野町長選挙直前の堀江町長の号外チラシで「給食の民営化は必要なく、これまで通り進めます」、「学童も民営化の必要なく、これまで通り進めます」と書かれてあった。

この問題は、私が町議として長年取り組み、実現させてきた大切な問題である。このことを、町長公約としてしっかり守っていただけることを確認させていただく。

答 現在の自校直営方式の学校給食は今後も継続して実施する。学童保育についても現在の運営方針を尊重し、今後が変わらず、ともに子どもたちのことを考え、取り組んでいきたい。

全国的にも先進的な同和問題解決の取り組みの継承

問 森田町長の時代から藤澤町長に至るまで、地元と行政がともに取り組んできた同和問題解決の対応が、堀江新町長になったことで、今までの取り組みを外から変質させようと、さまざまな圧力をかけてくるのが危惧される。堀江町長は、これまでの日野町の同和問題解決の取り

組みが後退することがないよう、継承していただきたい。

答 日野町がこれまで歩み続けてきたこの道筋を後世に伝え、役場行政は、地元をはじめとした全町民のこれまでの取り組みと意思をしっかりと受け止め、これを引き継いでまいりたい。

議員のコメント

堀江町長になってはじめての定例会。私の質問に対しては、すべて前藤澤町政を引き継ぐ形でしたが、今後の町長、議会の動きをしっかりと見ていく必要を感じた9月議会でした。



コロナ感染症と生活環境・経済対策について



谷 成隆 議員

コロナ感染症と生活環境・経済対策

問 今年に入ってから新型コロナウイルス感染症が発生し、全国的に増える中、終息にはまだ時間が必要で長期化しています。短い夏休みも終わります。毎朝子供達はマスクを付け通学する姿、外出すればマスクをする姿が最初は違和感さえ感じ危機感を感じる様になり、数か月経てばそれが当たり前の姿になって行く、生活そのものがこれから変わろうとしています。日野町内のお祭り事、各種行事イベントは中止になる状況です。今後開催できる状況に向けて考えを変えていかないと地域内経済も非常に大きな打撃を受け続け、今後の生活さえも脅かすコロナ感染、この地で商売をする私どもにとってもお客様とどう向き合っていくべきか日々迷っています。私達はコロナとどう暮らし付き合っていくのか、日野町、商工会、生産者、消

費者となる住民がひとつになり、今後の生活が安定するように導いて行きましよう。

①町は緊急経済対策として地域内循環を促進する目的で日野町民一人当たり三千円の「ふるさと日野町がんばろう商品券」事業を実施していただきました。これに合わせ商工会青年部はSNSで「#私は日野で」食べる、遊ぶ、暮らす。と日野町の地域内経済の活性化を図ったり、リアルサポートビジネスを企画されています。この企画に日野町はどの様に連携をして行こうとされているのかお伺いします。

いものかお伺いします。
③コロナ感染症により高齢者への情報提供はどの様にされているのかお伺いします。

答 ①七月末、商工会青年部長から取り組みの協力要請があり、現在庁舎や関係施設へのポスター掲示や広報ひの九月号で紹介、町内消費に地域内の経済循環の促進に引き続き企画の周知に努めて行きます。

②リモートワークの拡大やWeb上での会議やミーティングの開催、働き方や生活スタイルが大きく変容し「日野町に住みながら都市と同様に仕事ができる時代」をご提案いただきました。町内の空き家、空き店舗を活用し日野町への移住定住を進め、日野町を体験していただくお試し移住の取り組みやワーキングスペースを整備する取り組みを、情報インフラの整備と合わせ研究してまいります。
③主に町のホームページでお知らせする内容によって、日野めぐる、新聞折込利用、区長発送

直接郵送で案内、外出を控え「動かないこと」「心身の機能低下」「フレイル」の進行が危惧されフレイル予防の啓発チラシ新聞折込で配布に必要なサポートが迅速に届くよう対応する。



議員のコメント

以前の地方移住は定年後、地方でのんびり暮らすことでしたが、近年、子育て世代の移住希望者が増えている。新型コロナウイルス感染症拡大は若い世代の人生設計に大きく影響する可能性、人口が集中する都市部を中心に感染が深刻化し都市部に住むリスクが浮き彫りになった。テレワークやオンライン会議の活用が進み、地方に住みながら都会の仕事の継続できる可能性も高まっている。

未来のために考えたい『新しいローカルのあり方』 — 多文化共生のまち・地域内経済循環の構築 —



※わかりやすいように、できるだけ簡単な表現に編集しています。

野矢 貴之 議員

①誰も取り残さない 「多文化共生のまち」

問 最近の深刻な相談はあるか。セーフティネットで救えているか？

答 生活保護世帯が増えている。緊急の貸付も増えているので、制度の終わりの頃が心配だ。

問 海外からの短期滞在者は公の制度として支援を受けられないと聞いているが間違いないか？どのように対応できるのか？

答 非常にはがゆいが、枠組みとして支援の制度は無い。寄り添って相談を受けることはできる。

問 行政とは別の外国人対応機関の準備状況は？

答 国際親善協会で話題として出ているが、研修や多文化共生推進プランの策定などはできていない。

問 多文化共生のまちづくりは、外国人のみならず、誰もが住みやすくなり、公共の利益となる。先進的にすすめてはどうか？

答 関係機関が連携して誰も取り残さない仕組みをつくることは非常に大事だ。新たな取り組みを検討しないといけない時期だと考えている。

②地元産業が元気な 「地域内経済循環」

問 まちづくりにおいて、外部依存の長所短所についてどう考えるか？

答 コロナ禍において、外部依存の度合いが高いほど影響が顕著である。国内へのつながりの大切さに気づかされた。

問 地域内経済循環について取り組んだ事例はあるか？

答 住宅リフォーム、スタンプリー、田舎体験など、地域内でお金が回るように意識してきた。

問 地域にお金をたくさん入れても、すぐに出て行ってしまつては効果が薄い。地域からお金が出て行ってしまつて経済循環の穴が、どこにどれくらいの大きさであるのか調べたことはあるか？

答 具体的に数字として調べた経過はないと思われる。

問 地域の経済循環は、強い町の資本となる。公共性のある事業構想として取り組めないか？

答 サステイナブル（持続的）な取り組みは非常に重要である。循環をテーマに地域の経済をつくっていきたいという思いがある。さらに環境問題解決などの付加価値も理想として考えたい。

野矢貴之のココがポイント！



多文化共生のまちづくり
外国人だけでなく、すべての人が属性の違いをこえ地域の構成員として、共に豊かに生きる地域をつくる。

まずは多文化共生推進プランの策定を！

地域内経済循環の構築
外部への依存を少なく自立した持続的な経済の基礎を地域内の循環によってつくる。多様なモノを生産できる農村地域だからこそ、都会にはできない循環を成立させることができる。

『新しいローカル』という言葉は、ローカルならではの新しい取り組みを表現した。日野町にしかできない、日野町だからできることがある。どちらも、**たまたまでは絶対に成し遂げられないまちづくり**なので、調査・分析から確実な前進を示してほしい。



町有財産の処分（1議案）														
町有財産の処分 町有財産を(株)キムラテックへ有償譲渡するもの ▽土地： 大字北脇字カミ山1番243の一部他2筆 ▽地積合計： 7,468.12㎡ ▽売却価格総額：60,118,366円	原案可決	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/
指定管理者の指定（1議案）														
日野町農業構造改善事業施設 日野町農業構造改善事業施設（滋賀農業公園）の指定管理者の指定 ▽指定管理者：株式会社ワールドインテック ▽指定期間：令和2年10月1日～令和3年3月31日	原案可決	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/
条例の制定・一部改正（2議案）														
日野町税条例（一部改正） 関係法律の制定公布に伴い、次のとおり改正 ①所得控除について、寡夫控除を除き、ひとり親控除を追加②軽量な葉巻たばこに係る紙巻たばこの本数への換算方法の見直し③租税特別措置法の延滞金等の特例規定の改正に伴う規定の整備	原案可決	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/
地方税法等の一部を改正する法律および所得税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例（制定） 関係法律の制定公布に伴い、日野町後期高齢者医療に関する条例、日野町介護保険条例、日野町公共下水道事業受益者負担金に関する条例の延滞金の割合の特例に関する規定の一部を改正	原案可決	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/
補正予算（5議案）														
一般会計（第5号）	原案可決	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/
一般会計（第6号）	原案可決	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/
国民健康保険特別会計（第2号）	原案可決	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/
介護保険特別会計（第1号）	原案可決	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/
下水道事業会計（第1号）	原案可決	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/
決算の認定（10議案）														
令和元年度滋賀県市町村交通災害共済組合一般会計歳入歳出決算	原案認定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/
令和元年度日野町一般会計歳入歳出決算 令和元年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算 令和元年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算 令和元年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算 令和元年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算 令和元年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算 令和元年度日野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 令和元年度日野町西山財産区会計歳入歳出決算 令和元年度日野町水道事業会計決算		<p>*決算特別委員会で閉会中に継続審査</p> <p>令和元年度一般会計他8会計の決算審査を行うため、12名の委員で構成する決算特別委員会が設置され、閉会中の継続審査となりました。</p> <p>▽委員長…奥平英雄 ▽副委員長…後藤勇樹 ▽委員…野矢、山本、高橋、加藤、山田、谷、中西、齋藤、西澤、池元</p>												

議員提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
特別委員会の設置（1議案）・選挙（1件）														
決算特別委員会の設置	原案可決	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/
決算特別委員会の委員の選任	選任	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/
請願の審査（1件） *採択・不採択ではなく継続審査とすることに対する採決														
核兵器禁止条約への署名・批准を求める請願 ▽請願団体：日野町平和委員会 事務局長 藤岡博氏、日野町母親大会連絡会 会長 京川愛子氏 ▽紹介議員：齋藤光弘議員、加藤和幸議員 ※8ページに関連記事掲載	継続審査	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
賛否同数のため、議長採決														
意見書の決議（1件）														
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書 ▽提出者：中西佳子総務常任委員長	決議	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	/

提出された議案と結果

○賛成 ×反対

第4回臨時会(7月27日開催)

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
財産の取得(2議案)														
日野町立小・中学校情報通信ネットワーク環境整備機器 (GIGA スクール構想) ▽内容: 町内各小学校と中学校において、1人1台のタブレットを配置するにあたり通信環境を整備 ▽取得金額: 63,238,076円 ▽取得相手方: キノンビクス(株) 代表取締役 齊藤隆夫	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町立小・中学校情報通信ネットワーク環境整備機器 ▽内容: 町内各小学校と中学校のネットワークシステムを管理する基地局として、役場サーバー室にネットワーク機器を設置 ▽取得金額: 9,911,924円 ▽取得相手方: キノンビクス(株) 代表取締役 齊藤隆夫	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
選挙・選任(2件)														
滋賀県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙 藤澤直広議員の任期満了に伴い欠員となっていた議員に堀江和博氏を指名推選	当選	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会広報特別委員会委員の補欠選任 欠員となっていた議会広報特別委員会委員に中西佳子議員を指名推選	選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第5回定例会(9月1日~25日開催)

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
人事(5議案)														
日野町副町長(選任) 津田誠司氏(守山市)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員(候補者の推薦) 奥田慶二氏(上駒月)	適任と認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町固定資産評価審査委員会委員(選任) 西沢雅裕氏(村井)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町固定資産評価審査委員会委員(選任) 畝田鉄也氏(村井)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町教育委員会委員(任命) 神川貴子氏(川原)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得(3議案)														
避難所用ワンタッチパーテーション ▽財産の種類・数量: ワンタッチパーテーション 700張、屋根 70張 ▽取得金額: 22,237,600円 ▽取得相手方: (株)奥山ポンプ商会 代表取締役 北村芳巳	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町立小・中学校教育用コンピュータ機器 ▽財産の種類・数量: 教育用コンピュータ機器 1,090台 ▽取得金額: 49,039,100円 ▽取得相手方: (株)大塚商会滋賀営業所 所長 宇野直基	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
防災情報伝達用戸別受信機 ▽財産の種類・数量: 戸別受信機 1,300台 ▽取得金額: 13,156,000円 ▽取得相手方: (株)エフエム滋賀 代表取締役社長 大森七幸	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

*「議会だより」に関するご意見募集！書式は問いません。郵送・emailまたは議会事務局までご持参願います。

津田誠司氏が副町長に就任



10月7日開催の議員全員協議会に10月1日に就任された津田誠司副町長が出席し、議員に「日野町は歴史・文化で様々な魅力が詰まった素晴らしい町。皆さんがこれまで培ってこられた町を未来に向けて素晴らしいものへと繋げていきたい」と力強く挨拶されました。

必佐幼稚園児の交通教室 (9/30)



県道日野徳原線ラウンドアバウト交差点（内池）にて10月1日の供用開始を前に、必佐幼稚園児の交通安全教室が開催されました。当日はジュニアポリスの制服に身を包んだ園児たちが警察官の指導の下、県内でも5例目の設置となる環状交差点の渡り方などを体験しました。



議長 杉浦 和人

議長コラム

全町民のために
働く町政を

秋・冬の新型コロナウイルス感染症拡大が不安視されている中、菅内閣はその対策を最優先課題に掲げスタートいたしました。

9月定例会から堀江新町長の政治姿勢も明らかになってきました。住民の関心の高かった副町長が選任されました。現下、道路・近江鉄道・町内バス問題など交通網整備が喫緊の課題となっております。交通戦略を重視して、滋賀県土木交通部の津田誠司氏が就任される事になりました。同氏は三日月県知事肝入りの「ビワイチ」の発案者とも言われています。

さて、今定例会を振り返りますと、堀江町長の選挙公約である「ふるさと納税」の施行について提案され、様々な意見にも的確に答弁され、全員に賛同が得られました。一方、政策について12議員が登壇され一般質問されました。多くの議員から「強い思いで述べられ評価できる」「明言していただき安心しました」と町長答弁にも好感度が見られました。

暫く途絶えていました中央要望（財務省・国交省）も町長・職員一同で実施いただきました。議会も昨年は、町内に信号機の設置を要望し成果をいただきました。本年も11月末に中央要望を計画しています。

町政が代わろうとも、議会の役割をしっかりと果たし、全員で頑張つて参ります。

議会広報特別委員会

- | | |
|------|---------------|
| 委員長 | 後藤 勇樹 (P24) |
| 副委員長 | 加藤 和幸 (P 1) |
| 委員 | 齋藤 光弘 (P 7) |
| 委員 | 中西 佳子 (P 2・3) |
| 委員 | 高橋源三郎 (P 6) |
| 委員 | 山本 秀喜 (P 4・5) |
| 委員 | 野矢 貴之 (P 8) |

*()は担当したページ

編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響が町民生活や経済活動に大きな影を落としています。この苦難を乗り越え日常を取り戻すため、私たち議会も行政と力を併せ、引き続き全力で取り組んでまいります。お困りごとは一人で悩まず、議員や役場にご相談ください。

(後藤 勇樹)

訃報

元日野町議会議長 小澤重男様
令和2年9月30日ご逝去
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。